



入戸野地区の話し合い(上)や目標地図の素案作成(下)では各委員がけん引



地権者と話し合う際には、集約を前提に農地を引き継ぐよう働きかけている。農業委員の山本弘行さん(68)は「高齢の耕作者は農地を誰かに貸したいと考へてはいるが、実際に貸すための行動をとることができない」と話した。

農業委員会の早川洋次長は「地域計画の策定は、地域の担い手が主体となって行うことに意味があり、計画を策定する際の調整やその実行には農業委員・推進委員の存在が必要不可欠」と力強く語った。

## STOP ストップ 397 鳥獣害

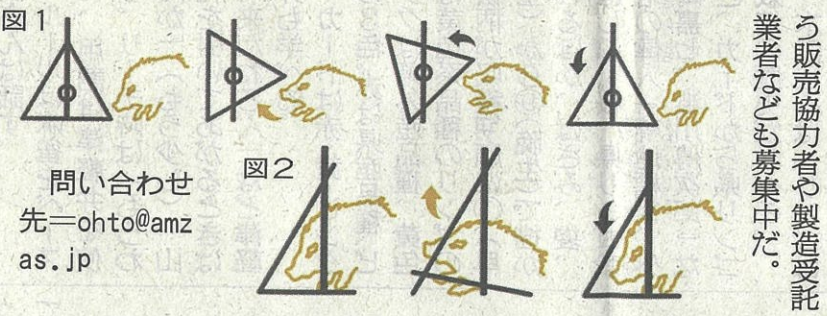
鹿児島県の会社が 開発し販売開始

鹿児島県長島町のアマザス株が、猪の習性を利用した動く侵入防止柵「イノシシガードシリーズ」を開発した。従来の侵入防止柵とは大きく異なる製品で、2021年に特許を取得。昨年12月に販売を開始し、普及を進めている。

同シリーズは、傾斜地の設置に向く「クルっと！イノシシガード」と、平地の設置に向く「スポッと！イノシシガード」の2種類。前者はワイヤーメッシュを三角柱型に、後者はL字型に組み合わせた立体構造をしている。それぞれ2倍幅を一つの単位としており、支柱を介して連結すること

## 猪の習性利用した動く侵入防止柵

で設置長を伸長できる。最大の特徴は、どちらも完全に固定されず動くということ。クルっと！イノシシガードは、猪が侵入しようとする際に、鼻で持ち上げると、三角柱部分が重心線を軸に前方へ回転し侵入を防ぐ。「スポッと！イノシシガード」は猪が侵入しようとする際に、鼻で持ち上げると、三角柱部分が重心線を軸に前方へ回転し侵入を防ぐ。「スポッと！イノシシガード」は猪が侵入しようとする際に、鼻で持ち上げると、三角柱部分が重心線を軸に前方へ回転し侵入を防ぐ。「スポッと！イノシシガード」は猪が侵入しようとする際に、鼻で持ち上げると、三角柱部分が重心線を軸に前方へ回転し侵入を防ぐ。



郷土食材 レシピ

石澤清美の

【山梨県】

(1人分296kcal)

## 農と村のルネサンス

持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩



### 続く雪の少ない冬

今年も雪の少ない冬となった。昔から豪雪で知られた本一の長さの「雁木」が津上越市の高田地区でも、末、雪はほとんどありません。ここまでの少ないと、確かに驚かすほどに追われることも暮らしては楽なのですが、今年がそうだったように、に田んぼの水不足が起きる